

# ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょう」)

発行 有限会社ナツプ  
編集責任 中田 等  
発行日 令和元年七月  
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

## 鈴虫寺に行ってきました来ました!



今年の6月6日に広告組合の全国大会が京都でありました。単身で来ていた友人に大会の翌日、どこ行くのか聞いたら鈴虫寺に行くこと?なんか面白そうだとお寺にお参りに行きました。場所は京都の嵐山近くにあり、寺の門前で30分くらい待つと順番が来て鈴虫の声が聞こえる建物の中に入る事が出来ました。ここは約150人が座れるようになっており、部屋の奥には鈴虫が飼われている水槽が沢山並んでいるので、リリーオンという声がこの部屋中に心地よくだだよっています。この時期の鈴虫は3000匹いると和尚さんは言っていました。100人以上が席に座ると、和尚さんのお話が始まります!3つ目「磨」自分を磨くことは忘れずに、自分の知識や技術もそうだし、特に心を磨いて欲しい、特に、『謙虚な心を忘れずに、大切にしたい』っておっしゃっていました。人間は1人では生きられないから、次の3つの気持ちには忘れないで欲しいとの事。「おかげ様です」「お



(等)

世話様です」「お互い様です」実はこの話が非常に面白い!一人漫談・落語です。そして、このお寺のもう一つの人の秘密は、わらじを履いたお地藏さんが願いを叶えに私たちの所へやって来るのだそうです!鈴虫寺で、願い事を叶えるためには、黄色いお守りを買う必要があります。1つ300円です。そのお守りを使って正しい方法で「わらじを履いたお地藏さま」にお祈りをすれば、願い事を叶えてくれるという事です。ただし願い事は一つだけ、この黄色いお守りは1回しか効果が無いので願い事が叶ったらこの黄色いお守りを持って、お礼に来ないといけないんです。謙虚な心でお参りする事が重要です!今回の経費(駐車場500円、拝観料500円、願いを叶える黄色いお札300円也)ありがとうございました!

## チヨースンのよくある話

〜見る側と出る側〜

先日ビッグサイトで開催された「販促EXPO」へ視察に行ってきた。最新の印刷物、ノベルティ、什器など大変勉強になりました。しっかりとお客様へより良い商品製作を通じてアウトプットさせて行きます!  
3年ぶりに来てみて感じた「ポイント」は、自社の商品の作り込みだけでなく、B to B、B to Cに関係なく安心して依頼し購入し決済し納品のフローまで整えているかです。「ザックリ幾ら?」や「クライアントに直送したとき大丈夫?」という問いに、即答または適切な資料をすぐに対応できる参加スタッフの用意・段取り力に心じて、傍目からでも「ただの冷やかかし」か「見込み客としての商談」なのかがわかりました。  
2年前に、別会社の「出る

## らんちい部 見参! 「まんがっかの巻」



宮崎に数十年住んでいて、まだまだ行ったことがない場所を体験し、今回改めて「見る側」でした。「何でもやります!」より、「ウチはコレ!」というメイン・コンセプトをハッキリさせること。商材を通して事業をどうしたいのか、お客様にどう喜んで欲しいのかという「定義」が商品・スタッフ・ブース装飾・配布資料にしっかり浸透している上での出展が大切だと再認識できました。(帖)

宮崎に数十年住んでいて、まだまだ行ったことがない場所を体験し、今回改めて「見る側」でした。「何でもやります!」より、「ウチはコレ!」というメイン・コンセプトをハッキリさせること。商材を通して事業をどうしたいのか、お客様にどう喜んで欲しいのかという「定義」が商品・スタッフ・ブース装飾・配布資料にしっかり浸透している上での出展が大切だと再認識できました。(帖)



# いんちきクワイマーが行く! 「大隅半島の主峰 大笠柄岳 その1」編

ハーハー、ゼーゼー、苦悶の表情で、金魚みたいな口をパクパク。酸素が欲しいぞ、一心不乱に急登の岩尾根をヨイシヨイシと登っている。

こんな私をばからみたら、「あの人は、なんてきつそうな事やってんのかしら。なにかのバツゲーム？」と映るのでしようが…。

知らず知らず、身体と心にとまった澱みを、新しい清浄な大地の空気が押し出してくれます。これはもう、幸せと言ってしまうのでは。

日本地図の九州を見ると、鹿児島は、錦江湾を包むように二つの半島に分かれています。左側が薩摩半島で、右側が大隅半島です。この大隅半島の真ん中あたりに、高隴山系という山群があります。これがなかなか、魅力的なところなのです。

大笠柄岳・小笠柄岳・妻岳・御岳・二子岳・平岳・横岳・白山といった1000mを超える、個性的なシルエットのかっこいい山々の座です。今回は、鹿屋体育大前から鳴之尾牧場(めいのお)方面へと林道を走らせること30分の、テレビ塔下登山口へ。

ここから御岳、大笠柄岳までのピストン縦走です。昨年秋に一度、チャレンジしたのですが、どうにもバテてしまい、敗退した経緯があり、リベンジマッチでもあります。

朝7:30 登山口の駐車場には一台だけ先行者が。自分の車を入れて二台目です。帰りには、10台近い車が停まっています。冷たい空気の中、

身支度をして屈伸運動、いざ出発。最初の目的地、御岳(おんたけ標高1180m)までは標準タイムは70分とあります。そこから2時間30分かけて大笠柄岳(おおのがらだけ標高1236m)となります。うーん、こりゃ少しばかりペースを上げていかないと、ゆとりある山行にできないなあと、気を引き締めて覚悟します。

登山口より20分ほどでテレビ塔の建屋へと到着。ここまでは石の階段なので、温まってるない身体にはこれが意外にキツイです。この場所から御岳の山頂へと連なる稜線が一望できます。なかなかの男前の尾根です。



いったん20mほどドーンと下り、そこから山頂まで一気に400mほどを上がっていきます。冷たく乾いた空気の中、徐々に身体がじわりと汗ばみだし、ツーンと汗が首筋にたはじめる頃、八合目の水場へ到着。1分ほど小休止して、上がった息を整えます。

気持ちが高揚しており、自分でもモードに入っているのがわかります。さあ行こう。黙々と急登を歩き攀じり、やがて頭上を覆う木々の濃い緑が少なくなると、高くぬけた青空へと変わり、御岳山頂へ到着。



標準タイムより早めの50分で見えました。誰もいない山頂は、360度のパノラマです。ものすごく気分がいい場所です。霧島、錦江湾、桜島、志布志湾、太平洋をわが掌中におさめます。振り返るとテレビ塔は、はるか下に。これから行く大笠柄岳へ続く稜線がとてもいい感じで見えています。この幸福感を三分ほど堪能したら、さあいよいよ大笠柄岳へと向かいます。ここから一気に200mほどコルまで下ります。山と山の間を鞍部(コル)といいます。下りはじめてすぐに崩落地のトラバースです。陽の当たらない北面の箇所は、霜柱が立っており、足元はグズグズです。固定ロープが渡してありますが、どうにも不安定な状況でここをスズルと滑りつつも、クリアしていき、そしてまた怒涛の下りへ。(賢)

## 花をたずねて! アケボノツツ



4月の中旬にアケボノツツ(淡いピンク色が、夜明けの「曙」の色に似ている事から、その名がついた)を見に行きました。行先は、諸塚山と高千穂、五ヶ瀬町にまたがる二上山です。途中、美郷町では、おせりの滝に寄りまして、高さ七十メートルの崖から三段に落下する滝は、迫力があり、マイナスイオンがたっぷり癒されました。諸塚村の中心地から、諸塚山スカイライン(林道)を通り、六峰街道から諸塚山の西登山口を目指しました。スカイラインは、山の尾根を通っていますので、そこから見る景色は、雄大で素晴らしいものでした。そして、林道の為、ほとんど対向車がなかったのです。のんびりとドライブが、楽しめました。六峰街道に入ったら、あちこちでツツジを見る事が出来ましたが崖に生えている為に近づけませんでした。残念ながら、諸塚山の花は一分咲きで、まだ、蕾だらけでした。街道沿いにある駐車場から二上山の展望台までは急登でしたが、

二十分位でたどり着きました。山頂付近からは、阿蘇の山並みや高千穂の町が望める絶景でした。杉の植林を抜けたら、鮮やかなピンクのアケボノツツの群生地が現れ、ちょうど満開だったので、感激もひとしおでした。話には聞いていたのですが、こんなにも綺麗な花だとは思いませんでした。何年も前から、見たかった花だったので、遠路はるばる、宮崎から来たかいがありました。(百)



## 編集後記

梅雨に入って鬱陶しいこの時期、いかがお過ごしでしょうか? 県外から帰省してくる友人が必ず食べたがるものに、地鶏炭火焼が多いです! 宮崎と言ったら、鶏料理ですよ! 宮崎料理と言ったら、何を思い出しますか? 私の、宮崎うめもんじゃバースト5は:  
5位 一平のレタス巻  
4位 肉巻きおにぎり  
3位 織田新 釜揚げうどん  
2位 おぐら チキン南蛮  
栄えある1位は:  
もちろん地鶏それも…

割箸さんの地鶏も焼きです! ここは、地鶏メイトのお店で、全てが美味いんです! 地鶏のたたき、砂ずり、鶏の刺身、も一度言います! くっそうめ1です。食いしん坊の私、来店して、次の予約を取るほどなんです。文章を打ちながら興奮しましたね(笑) ナップ従業員の、山好き、花好き、旅好き、食好きの新聞、9月もご期待ください!  
(光)